

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年3月1日～3月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>【YKコミックス】 K keiko</p> <p>令和3年2月24日発行</p>	<p>修整されているものの性描写が多い。指定やむなし。</p> <p>性接待という公序良俗に反する内容が描かれている。また、体液描写など多く、指定該当やむなしと考える。</p> <p>全編にわたり性交シーンが続く。性器部分の修整はされているものの、擬音、体液の描写が多く、極めて卑わい感が強い。また、ストーリー的にも夫が自分の妻を他人に差し出すという点で倫理的にも問題。強制的な性行為ということで、パワハラ、モラハラ感も強い。指定該当</p> <p>局部は描かず、消しはしっかりしており配慮がある。脅迫と取れる場面あり人格否定ととられかねないが、そこをテーマに据えており、そうした世界を描くことまですべて否定はできない。ただし、器具の使用があり、特に後半性描写が多い。指定やむなし。</p> <p>1話読み切りの物語。それぞれの話に、キャラクターを盛り上げるための性行為が描かれている。3話目までは男女合意のもとに性行為が行われているように読めなくもないが、4話目以降の、院長選挙に勝つために、妻が薬物入りの酒を飲まされ、性行為を強要されるシーンは、暴力性、人格否定共に強い表現であり、指定該当やむなしと考える。</p> <p>ストーリーはしっかりしており、キャラクターの設定もていねいで、絵も上手く、作品として一定のクオリティがある。しかし、人格を否定するようなセリフが多数使用されていること、さらに睡眠薬で眠らせて自由を奪った後に輪姦するという、人格否定、不法行為を肯定するような表現がある。指定やむなし。</p> <p>性器描写の修整はほどこされており、一定の配慮を感じる。しかし、セリフや性交シーンにおいても露骨な場面の数量が多い。成人向き。指定該当</p> <p>若い女性へのセックスまでの物語。あまりストーリーは感じず自分からあるいは他力で、結果セックスをしてしまう。性器の描写は少なく、全裸又は下着での描写が多い。セックス時の擬音が激しく性欲をかきたてる。複数でのセックス・自分の妻を提供・強要・器具の使用もあり、人格否定・卑わい感も感じる。指定該当</p> <p>全編卑わいで、女性の人格を否定し、男性の欲望の充足のみを主題としていて不快である。また暴力的で器具の使用もある。社会的地位を得るために肉体関係が女性に強要されている面もある。指定やむなし。</p> <p>ジャンルは青年マンガ。一人の作家が設定の違う単編を6話掲載。性器類は少なく白マルで特に問題ないかと思うが、強姦を思わせるストーリーに難あり。保留</p> <p>登場人物や絵の感じ、またストーリー的にも未成年である青少年が読む作品ではないと感じた。器具の使用や複数でのレイプ的なシーンもあり、卑わいで強制的な印象。性器の消しは十分にされている。判断が難しく保留</p> <p>性交シーンの分量は確かに多いが、絵は淡白で卑わい感は少ない。内容的に若干暴力・強制的表現も散見されるが、基本的に合意性交のうちにあり、人格否定とまでは言えない。性器の描き方においても、十分な配慮がなされている。指定非該当</p> <p>ショートストーリーであるにしても展開が多いため、やらしいという感は受けない。それなりに性交シーンや奉仕プレイはあるもののしっかりと結合している部分の描写はない。角度、背後などの配慮は何える。所々の大開脚や擬音の部分は見受けられるのが気になる。判断に迷うが指定非該当</p> <p>夫の出世の為に合意の有無が曖昧な形で集団で他人と性行為に及ぶというストーリーが一部みられる。擬音、体液描写も多めな印象だが、性器や結合部については直接的に描かれていない。一部で開脚しているシーンはあるが、間に障害物を描くなどして露骨な描写を避けるべく工夫の跡が見て取れる。指定非該当</p>

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和3年3月1日～3月3日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
2	<p>エクレアコミック センパイ、いっかいだけ！</p> <p>令和3年2月1日発行</p>	<p>修整が甘いところや、性描写もあり。指定やむなし。</p> <p>性器は白抜きになっているが形状が分かり、結合部の描写が多く、指定該当やむなしと考える。</p> <p>性器部分は白抜きで修整されているものの、形状がはっきり分かり、卑わい感を強調している。また、擬音、体液の描写が極端に多く、器具使った性行為のシーンもある。指定該当</p> <p>性器の修整が許容の部分もあれば形状が分かるものもあるが、全体としては性器と分かるものが多い。擬音、体液の描写が激しく卑わいさを増している。ストーリーとしては面白味もあるが指定該当</p> <p>BLの王道設定。身体だけでなく、気持ちのやりとりも上手に描いており、ストーリー展開も素敵だった。絵のタッチからか卑わいさを感じない。ただ、男性器の形が分かる消しの甘さと登場回数から、青年レベルを超えていると考える。指定やむなし。</p> <p>男性器は消しているが形が分かり、むしろ強調している。結合部が分かりやすい。ひとつひとつの卑わい感は少ないが性シーンが多い。指定やむなし。</p> <p>男性同士の恋愛を丁寧に描いている。特に、女装を嗜好する自分を好きになってくれる相手に依存してしまうことを恐れ、距離を取ろうと試みながら結ばれてゆく過程は、読んでいて好感が持てた。一方で、後半に行くにしたがって男性器の修整が甘くなり、性描写も全編大部分と言わざるを得ない分量になっている。指定やむなし。</p> <p>かわいい絵柄で、恋愛ドラマを描こうとしており好感もてる。性器は白くしており配慮している面もある。しかしながら、性交場面の分量が多いことは否めない。判断に迷うが、指定やむなし。</p> <p>絵がやわらかく、強制的、暴力的なセックスはない。しかし性器は白抜きで形状がわかる。女性の下着姿や全裸でのセックス描写が多く、擬音、体液が激しい。器具の使用、スマホでの撮影もあり、卑わいさは感じる。総合的に判断し指定該当</p> <p>全編にわたり擬音、体液描写が多く卑わいな感じを与える。人間関係のきっかけにSNSが使われており、背後に脅しの要素も感じられ、問題を感じる。指定やむなし。</p> <p>性交シーンや、擬音、体液描写は多い印象。性器等局部については白抜きの様な形で全て修整が加えられており、一定の配慮が見て取れるが、形状が認識できる部分も一部ある。保留</p> <p>ジャンルBL。登場人物は先輩と2人。ストーリー展開が少ないのでエッチシーンが多いのか。性器は白抜きで修整は甘くないため特に問題なし。指定非該当</p> <p>絵柄はコミカルで軽く、リアリティを持たないゆえに卑わい感はほとんどない。内容も好き合ったカップルの性交を明るく描くのみで人格否定も見られない。性器はほぼ完全に白く抜かれ十分な配慮といえる。指定非該当</p> <p>擬音がやや多いが、全体的に絵のタッチはマイルドでそこまで卑わいではない。性器も修整されており、やや形状が判別できるものもあるが許容の範囲内。また、全編を通じて人格否定的な描写や強制的な性交が描かれておらず、1つの恋愛ストーリーとして読むこともできる。指定非該当</p> <p>コミカルな内容で読みやすく、卑わい感はあまり感じられない。性器の消しも白抜きで十分されている。ただ、性交シーンが多く、擬音、体液描写が多い。総合的に判断し、指定非該当</p>